

平成 27 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 自主研究 13
主査名	岩尾 詠一郎 ・ 専修大学商学部 教授
研究テーマ	ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスに関する研究
研究の目的: <p>近年の少子高齢化による、過疎化問題や高齢者の介護問題や医療問題、女性の社会進出や生活の 24 時間化、商品の差別化等による生活の多元化、および情報化や国際化により、人々のライフスタイルが変化している。この少子高齢化、生活の多元化、情報化、国際化は、小口貨物の多頻度輸配送の増加等の物流サービスに影響を与えることがあるため、ライフスタイルの変化により、新たな物流サービスが必要となる場合もある。このことから、ライフスタイルの変化と新たな物流サービスの相互関係を明らかにするとともに、新しい物流サービスの成立要件を明らかにする必要がある。</p> <p>そこで、本研究では、ライフスタイルの変化と既存の物流サービスの事例を明らかにし、既存の物流サービスを分類し、ライフスタイルの変化との相互関係を明らかにするとともに、ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスが成立する要件を明らかにしていくことを目的とする。</p>	
研究の経過(4 月～9 月): <p>上期では、研究を「ICT 化と少子高齢化と流通チャネル WG」、「コンパクトシティ WG」、「中山間地域問題 WG」、「宅配サービス WG」の 4 つの WG で研究の検討を行い、研究会で報告した。</p> <p>具体的には、「ICT 化と少子高齢化と流通チャネル WG」では、モビリティの確保とアベイラビリティの確保の相互関係を、買い物支援の対策例をもとに明らかにした。「コンパクトシティ WG」では、コンパクトシティ実現前後の物流に与える影響の数量的分析の方法を明らかにした。「中山間地域問題 WG」では、中山間地域を対象に、集落の拠点を活用した生活必需品と一般ごみの効果的な輸送・分別方法の検討方法を明らかにした。「宅配サービス WG」では、宅配に関連する物流サービスの事例と課題を明らかにした。</p>	
下期へ向けて(課題等): <p>下期では、「ICT 化と少子高齢化と流通チャネル WG」では、ICT 化と少子高齢化による新たな物流サービスが流通チャネルに与える影響を示す。「コンパクトシティ WG」では、コンパクトシティが実現した場合の物流の課題を示す。「中山間地域問題 WG」では、中山間地域を対象に、集落の拠点を活用した生活必需品と一般ごみの効果的な輸送・分別方法の違いによる影響を明らかにする。「宅配サービス WG」では、ライフスタイルの変化と新たな宅配サービスとの相互関係を明らかにする。</p> <p>以上の分析を通して、ライフスタイルの変化と新しい物流サービスの相互関係が明らかになるとともに、新しい物流サービスの成立要件を明らかにしていく予定である。</p>	
研究メンバー(敬称略): <p>岩尾詠一郎(主査・専修大学) 苦瀬博仁(流通経済大学) 杉山雅洋(早稲田大学名誉教授) 森本章倫(早稲田大学) 味水佑毅(高崎経済大学) 渡部幹(東京海洋大学) 石川友保(福島大学) 長田哲平(宇都宮大学) 古明地哲夫(三菱総合研究所) 加藤二郎(三菱総合研究所) 森尾淳(計量計画研究所) 大門創(計量計画研究所) 峯猛(日通総合研究所) 内田大輔(建設技術研究所) 長谷川翔生(建設技術研究所) 椎名主税(国際航業)</p>	